

本日は、お忙しい中、第3回福山市小中一貫教育推進懇話会に御出席いただきありがとうございます。うございます。

2学期以降、各中学校区では、推進協議会で方向性を確認をしたり、小中教員の連携を重ねたりする中で、このあと報告いたしますが、様々な取組みが行われてきております。

小中合同行事を行った中学校の教員から、

「中学生のリーダー性や先輩としての意識が高まった。」という声や、

中学校教員の授業を受けた児童からは、

「中学校の先生は、英語の細かいところまで教えてくださったので、よく分って英語が好きになりました。中学校での勉強が楽しみです。」といった声も聞かれるなど、

小中一貫教育の取組みが着実に進んでいると捉えております。

本日は、「福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てるために、福山の子どもたちに取り組みせたい教育活動」をテーマに協議していただくことにしております。

教育委員会では、この間、これまでいただいた、

「福山らしい小中一貫教育の創造をめざして欲しい。」

「子どもたちに福山を愛する心や誇りに思う気持ちを育てて欲しい。」

といったご意見を踏まえ、「(仮称)福山ふるさと学習」の目的や内容等について検討し、本日報告させていただく案を作成いたしました。

この案をもとに、子どもたちに取り組みせたい福山らしい活動や体験等、幅広く御意見をいただけたらと考えております。

最後になりましたが、本日が、今年度最後の懇話会となります。

座長をお努めいただいた小原先生を始め委員の皆様には、様々なご意見やご助言いただき大変お世話になりました。おかげをもちまして、本市小中一貫教育の基礎固めができたと考えております。

次年度は、今年度の取組みを踏まえ、子どもたちや教職員、そして地域・保護者の皆さんが小中一貫教育の良さを、より実感できるように取組みを進める必要があると考えております。皆様方には、引き続き、委員としてお力添えをいただきますようお願いし、開会の挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

[推進体制](#) [へ](#)

[小中一貫教育](#) [トップページ](#) [へ](#)